

8月からデイサービスがリニューアルしました



- ・鳳寿苑のデイサービスはフレイル予防に取り組んでいきます。

※フレイルとは
加齢に伴って心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し心身が弱った状態

- ・身体 心 脳 の元気を維持し 安心 楽しく そして美味しく。
- ・音楽を通して「心身機能の維持・向上」「口腔機能の維持」
「認知機能低下予防」を目指します。
- ・サービス提供時間が9：20～16：20と長くなりました。



皆様 笑顔がいっぱいの一日を過ごしていただいております



「今日は何の日？」
話が弾みます



楽しい紙芝居



お花クラブの活動



家事活動を通しての
機能訓練



ミニレクリエーション
今日はチーム戦

電子オルガンの生演奏とともに歌唱・運動。体操教室・絵手紙教室もございます。

送迎・お食事・運動・入浴・レクリエーションなど無料で体験していただけます。ご相談くださいませ。

一度は訪れてみたい佐賀の絶景



鳥居が海に浮かんで見える
神秘的な絶景
～大魚神社海中鳥居～

佐賀県南端の太良町にある「大魚(おおう)神社 海中鳥居」は、海上に3つの朱色の鳥居が連なって佇む姿が神秘的な、絶景スポットです。

そもそも、なぜ海上に鳥居が建てられたのでしょうか？その答えは大魚神社に伝わる海の神の伝説にあります。伝説の始まりは約300年前。悪代官に手を焼いた地区の住民が懲らしめようとして有明海の沖ノ島に誘い出して酒盛りをし、酔った悪代官を島に置き去りにしました。沖ノ島は潮が満ちると沈んでしまう島で、沈む島を見た代官は驚いて龍神様に助けを求めます。すると、「大魚(ナミウオ)」が現れて代官を助けます。感激した悪代官はそれ以来改心し、助けてくれた魚の名をとって

「大魚神社」を建て、岸から約200m離れた海上にも鳥居を建てました。それ以来、海の安全と豊漁祈願が行われ、住民の暮らしも豊かになったそうです。この鳥居は30年ごとに建て替える習わしがあり、現在でも続いて

います。海中鳥居の魅力は時間によって異なる表情を見せてくれることです。日本一の干満差を誇る有明海では、海に浮かんで見える海中鳥居も干潮時に完全に潮が引くと、鳥居の全貌が見え、歩くこともできるようになります。干潮と満潮で映る風景に変化が起こるだけでなく、日の出や夕暮れ、日中、月夜など。それぞれ異なる雰囲気を楽しむことができます。また、海中鳥居の横にはもうひとつお薦めのスポット「海中道路」があります。満潮時には漁業用の道路が海中に沈みますが、歩いて通ることができます。ただし海におちないようにご注意ください。



妖怪アマビエとは？



新型コロナウイルスの沈静化を願ってイラストを描く人が続出しました。アマビエは江戸時代末期に現在の熊本県に出現したといわれる妖怪です。「明治妖怪新聞」では、〈肥後の海中に毎夜のように光るものが出没する。それは「アマビエ」と名乗る怪物で、6年間の豊作を予言し、病気が流行したら自分の姿を映して人々に見せるようにと伝えて海中に消えたという。〉と紹介しているそうです。アマビエは「ゲゲゲの鬼太郎」第5作にも登場しているとか。描くことで新型コロナが封じられるなら描いてみたいと思いますね。

